

課題改善シート

教科名	小学校 国語	平成26年度問題	A ² 一	
学習指導要領の領域・内容	3、4年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) ア(イ) ことわざや慣用句、故事成語の意味と使い方			
調査問題				
著作権の都合により掲載できません。				
国立教育政策研究所 平成26年度 全国学力・学習状況調査の調査問題 小国A-2 https://www.nier.go.jp/14chousa/pdf/14mondai_shou_kokugo_a.pdf 参照				
解答類型		全国平均	県平均	自校等
1	1と解答している。	14.3%	16.0%	%
2	2と解答している。	29.5%	31.2%	%
◎	3と解答している。	55.8%	52.3%	%
9	上記以外の解答	0.0%	0.0%	%
0	無回答	0.3%	0.4%	%
課題改善の主なポイント				
<p>「故事成語の意味と使い方を理解することに課題があり、指導の充実が求められる。教科書では学習するが、それが実生活の中で意味と使い方を理解し、活用できる力となっていないことが、解答類型で半数近くの児童が誤答を選択していることから伺える。</p> <p>ことわざや慣用句、故事成語などの言語の指導は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」として取り扱うだけでなく、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」、「読むこと」と関連させて指導することが大切である。</p> <p>その際、国語辞典や言葉に関する事典などを使って調べたり、学校図書館や公立図書館の活用を図ったりしながら、ことわざや慣用句、故事成語の情報が児童自身で調べやすい環境を整えておくことが重要である。さらに教師は、様々な学習活動の場面や学校生活の中で意図的にこれらの言語を使い、児童に、先人の知恵や教訓、機知に触れさせ、興味・関心をもたせることが重要である。その上で、実生活の中で意図的に活用する機会を設けるなどして、計画的に指導することが必要である。</p>				
備考				
○ 関連する問題 平成24年度国語A8「日常生活で使われている慣用句を集め、それらの意味を適切にとらえる」 平成25年度A ² 一二「ことわざの意味として適切なものを選択する」				